

令和5年度

北日本医療福祉専門学校

薬業科シラバス

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
法学		30時間	15コマ	2単位	1学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店（登録販売者）		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医薬品の販売制度の仕組みや、医薬品の承認・認可制度、副作用などの安全確保の為に仕組みを理解する。						
【到達目標】						
薬事法規の仕組みを理解し、医薬品販売に活かせる。						
【授業の方法】						
・講義						
【成績評価の方法と基準】						
・小テスト10% 筆記試験90%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・薬事日報社 よくわかる薬機法 医薬品販売制度編、適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
コミュニケーション技術		30時間	15コマ	1単位	1学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	小林 よね子	有	盛岡少年院（公認心理師）		14時間
	2	我妻 信子	有	手話協力員（手話通訳士）		16時間
	3					
【学修内容】						
心理学、言葉づかい、姿勢等に焦点を充て、社会人としての多様なコミュニケーションツールを用いて展開していく。						
【到達目標】						
1. 適切な言葉づかいを用いたコミュニケーションができる。						
2. コミュニケーションを図るうえでのマナーを習得する。						
3. 説明責任を果たす方法やその手続きについて理解する。						
4. 言語に捉われない表現豊かなコミュニケーションを図ることができる。						
5. 手話を用いた基本的なコミュニケーションができる。						
【授業の方法】						
・演習						
【成績評価の方法と基準】						
・小テスト20% 筆記・実技試験80%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・手話で学ぶクスリの教科書、適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
マーケティング論Ⅰ		30時間	15コマ	1単位	1学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	大友 恵	無			30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
現代社会に必要な情報リテラシー能力について Windows コンピュータを用いて学ぶ。ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、メールソフトの使い方を理解し、パソコンの操作方法、文書、表やグラフ、プレゼンテーション、電子メールの活用技術を身につける。						
【到達目標】						
1. ワープロソフトを活用し、文書や図を作成する能力を身につける。 2. 表計算ソフトを活用し、表、グラフを作成する能力を身につける。 3. プレゼンテーションソフトを活用し、スライド作成とグループでテーマに沿った情報をまとめ、説明する能力を身につける。 4. メールソフトを活用し、ビジネスメールを作成する能力を身につける。						
【授業の方法】						
・演習を中心に進める。						
【成績評価の方法と基準】						
・文書作成と表計算による実技試験（70%）、グループごとのプレゼンテーション発表（20%）、授業中に取り組み演習課題の成果物を提出（10%）で評価する。						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・授業内容を理解するために、授業後は復習すること。						
【使用教材・教具】						
・配布資料						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食、不必要なスマートフォン等の操作は認めません。私語は原則認めませんが、不明な点をお互い確認を取ることは認める。 ・欠席した場合の授業中の課題については、実技試験実施までに提出すれば評価する。 この科目は、卒業後の社会生活において必要なスキルとなるので、意識しながら取り組むこと。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
マーケティング論Ⅱ		30時間	15コマ	2単位	2学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店（登録販売者）		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
薬業科において、登録販売者を志す学生が、医薬品の流通についての基本的知識を理解するために、リテールマーケティング（販売士）検定試験における、①小売業の種類、②マーチャンダイジング、③ストアオペレーション、④マーケティング、⑤販売・経営管理の内容を理解し、登録販売者に求められる流通の知識を習得する。本講義では、最初に小売業の種類に関する基礎知識を学んだ上で、小売業における販売戦略を考察し、用語について理解を深め、マーケティングの手法を理解していく。						
【到達目標】						
本講義における到達目標は、マーケティングに関する幅広い知識を習得し、学んだ内容を現場での実践に応用していくことができるようになることである。また、講義を通じて、リテールマーケティング（販売士）3級受験に対応する知識を得ることが出来るように、講義を展開する。具体的な学習内容をうけての到達目標は以下の通りである：						
①流通における小売業の基本、店舗形態別小売業の基本的役割について説明することができる。 ②「商品」の基本について学び、商品計画、価格設定、在庫管理など、店舗において展開される。種々の販売のための方略を身につけていく。 ③店舗の運営について、その1日のサイクルを知り、店舗において展開される具体的業務内容について知る。講義を通じて店舗における登録販売者としての実践へとつなげていくことができる。						

【授業の方法】
・講義（教科書・プリント）・演習
【成績評価の方法と基準】
・試験の成績70% 講義への参加態度、課題への取り組みの姿勢30%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：第2回以降、講義の最後に示す教科書の該当箇所を読んでください。（60分程度） 復習：学んだその日のうちに、講義内容に目を通し、疑問点などは調べてみましょう。（60分程度）
【使用教材・教具】
・秀和システム 販売士（リテールマーケティング）検定試験 テキスト&問題集 3級
【履修にあたっての留意点】
・講義中の私語や無許可で席を離れることは認めません。真摯に講義に取り組む姿勢で臨んでください。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
生理学		30時間	15コマ	2単位	2学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	大橋 廣美	有	病院（看護師）		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
解剖生理学的理解、加齢、障害などの症状について学ぶ。 医薬品が人体に与える影響について学ぶ。						
【到達目標】						
解剖生理の理解ができる 疾病や障害について理解ができる。 医薬品が人体に与える影響を理解できる。						
【授業の方法】						
・講義						
【成績評価の方法と基準】						
・小テスト20% 筆記試験80%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上巻 過去問題集 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬理学Ⅰ		60時間	30コマ	4単位	1学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	前東 憲子	有	病院（薬剤師）		60時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医薬品の薬効成分についての知識理解について学ぶ。						
【到達目標】						
1. 医薬品の定義について理解できる。 2. 医薬品の薬効成分について理解できる。 3. 効能と副作用について理解できる。						
【授業の方法】						
・講義、グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
小テスト20% 筆記試験80%						

【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上下巻 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬理学Ⅱ		60時間	30コマ	4単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	前東 恵子	有	病院(薬剤師)		60時間
	2					
	3					
【学修内容】						
薬がどのように効いていくのか、時間的経過や効能・副作用について学ぶ。						
【到達目標】						
薬効について理解し、症状に合った適切な薬について理解することができる。						
【授業の方法】						
・講義						
【成績評価の方法と基準】						
小テスト20% 筆記試験80%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 下巻 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅰ		30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店(登録販売者)		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
1. 医薬品に関する基礎知識を学ぶことができる。 2. 医薬品概論、医薬品の効き目や安全性について学ぶ。 3. 医薬品に関する情報をクラス内で協議・情報共有する。						
【到達目標】						
1. 医薬品の本質やリスクについて理解できる。 2. 健康食品と医薬品の関連について理解できる。 3. 医薬品の効き目や安全性について理解できる。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・期末及び期中(小テスト)の筆記試験により評価します。 ・期末試験の成績70%、期中試験(小テスト)の成績30%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。						

【使用教材・教具】
・ユーキャンの新人 登録販売者お仕事マニュアル ・その他適宜資料
【履修にあたっての留意点】
・携帯電話の持ち込みは禁止します。グループワークにも積極的に参加しましょう。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅱ		30時間	15コマ	2単位	2学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店(登録販売者)		30時間
	2					
	3					

【学修内容】
1. 適切な医薬品の選択と受診勧奨、薬害の歴史について理解する。 2. 一般医薬品で対処できる症状や医薬品による副作用について学ぶ。 3. 医薬品販売の法令・医薬品の適正使用・安全対策に関してクラス内で情報共有する。
【到達目標】
1. 一般医薬品で対処可能な症状について理解できる。 2. 販売時のコミュニケーションについて理解できる。 3. 薬害の歴史について理解できる。
【授業の方法】
・演習 ・グループワーク
【成績評価の方法と基準】
・期末試験の成績70% 期中試験(小テスト)の成績30%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験 受験対策共通テキスト 上巻 ・その他適宜資料
【履修にあたっての留意点】
・携帯電話の持ち込みは禁止します。グループワークにも積極的に参加しましょう。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅲ		30時間	15コマ	2単位	2学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売業(登録販売者)		30時間
	2					
	3					

【学修内容】
医薬品の添付文書の読み方や購入者に対する情報提供について学ぶ。 健康被害の救済制度について学ぶ。
【到達目標】
医薬品の適正使用や安全対策について理解できる。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
・小テスト20% 筆記試験80%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。

【使用教材・教具】
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上巻 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅰ		30時間	15コマ	1単位	1学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	有	調剤薬局(登録販売者)		30時間
	2					
	3					

【学修内容】
人体の各器官別、各機能別に構造と働きを理解でき副作用と結びつけて理解する。
【到達目標】
人体の各器官別、各機能別に構造と働きを理解でき副作用と結びつけて理解することができる。
【授業の方法】
・演習、グループワーク
【成績評価の方法と基準】
・小テスト30% 筆記試験70%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅱ		30時間	15コマ	1単位	1学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店(登録販売者)		10時間
	2	横田 禮子	無			10時間
	3	菊池 朋恵	有	調剤薬局(登録販売者)		10時間

【学修内容】
薬業演習Ⅰで学んだ売場作りを実際に学生自ら構想し製作することで商品構成や商品管理について理解を深める。
【到達目標】
登録販売者としての店舗管理について理解することができる。
【授業の方法】
・演習 ・グループワーク(4~5人のグループに分かれ、登録販売者についてディスカッションする。その中で、理想の医薬品を立体的かつ具体的に作成する。完成した作品は、校内で展示する。展示後、各グループの医薬品について振り返りを行う)
【成績評価の方法と基準】
・期末試験の成績70% 期中(小テスト)の成績30%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・様々な店舗(ドラッグストア・総合スーパー等)へ行き、店舗展開をイメージしてもらう。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験 受験対策共通テキスト上巻 ・校内展示作品制作必要物品(医薬品空箱、画用紙、折り紙等) ・その他適宜資料
【履修にあたっての留意点】
・特になし。

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅲ		60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店(登録販売者)		60時間
	2					
	3					
【学修内容】						
登録販売者試験に向けての学習のまとめを行うことで、試験に対応できるようにする。						
【到達目標】						
登録販売者試験の過去問題が7割以上の正答ができる。						
【授業の方法】						
(1) 演習						
<ul style="list-style-type: none"> 登録販売者試験対策共通テキスト・過去問題集を使用し、登録販売者試験に備える。 各教科で履修した項目について振り返りを行い、弱点部分が克服できるように講義演習を行う。 						
(2) グループワーク						
<ul style="list-style-type: none"> 現場実習(実務経験)に関してクラス内で情報共有する。 登録販売者としての店舗運営力を身に付ける。 						
【成績評価の方法と基準】						
<ul style="list-style-type: none"> 期末及び期中(小テスト)の筆記試験により評価します。 期末試験の成績70%、期中試験(小テスト)の成績30% 						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。 						
【使用教材・教具】						
<ul style="list-style-type: none"> 登録販売者試験 受験対策共通テキスト下巻 その他適宜資料 						
【履修にあたっての留意点】						
<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅳ		60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店(登録販売者)		40時間
	2	菊池 彩子	無			20時間
【学修内容】						
ドラッグストア、薬局にある商品の販売の仕方、専門用語の取り扱いを知る。						
【到達目標】						
ドラッグストア、薬局にある商品の販売の仕方、専門用語の取り扱いを習得する。						
【授業の方法】						
<ul style="list-style-type: none"> 演習 グループワーク 						
【成績評価の方法と基準】						
<ul style="list-style-type: none"> 期末試験の成績70% 期中試験(小テスト)の成績30% 						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 様々な店舗(ドラッグストア・総合スーパー)に行き、店舗運営力を高めよう。 						
【使用教材・教具】						
<ul style="list-style-type: none"> 適宜資料等 						
【履修にあたっての留意点】						
<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話の持ち込みを禁止します。計画的に作成物に取り組みましょう。 						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
栄養学		45 時間	23 コマ	3 単位	1 学年(15) 2 学年(30) (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	三上 れい子	無			45 時間
	2					
	3					
【学修内容】						
栄養について学び、生活を支援することの重要性を学ぶ。						
【到達目標】						
1. 栄養、健康食品の理解をすることができる。 2. 高齢者や障害者に対応した調理方法、食事方法を理解できる。						
【授業の方法】						
・講義						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート20% 筆記試験80%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・ヘルスケアに関する実践知識編第2巻 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
精神保健の基礎		30時間	15コマ	2単位	1 学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	奥寺 三枝子	有	保健所（保健師）		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
ストレスを知る、ストレスへの気づき方、その対処と軽減の方法を知り、働く人の心の健康を保持増進できる知識と技術を習得する。						
【到達目標】						
心の不調に早期に気づく事ができ、その対処方を知り、職場作りのための知識を修得する。 心の健康を維持するセルフケアを習得する。						
【授業の方法】						
・講義						
【成績評価の方法と基準】						
・筆記試験100%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・ストレスや心の健康問題について考えられる人材となるように、予習復習をしましょう。						
【使用教材・教具】						
・メンタルヘルス・マネジメント検定試験 公式テキスト						
【履修にあたっての留意点】						
・ヘルスマネジメントを推進する人材として自身の精神の健康を保持し、健康を示唆できる人材となるため積極的な学習をしましょう。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅰ		30時間	15コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	無			10時間
	2	菊池 朋恵	有	調剤薬局(調剤事務)		20時間
	3					
【学修内容】						
1. 調剤に必要な医薬品の定義と分類、医療保険制度について学ぶ。						
【到達目標】						
1. 調剤に関する基礎知識を修得する。 2. 保険薬局での調剤に関しての知識理解を目的とする。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・期末試験の成績70%、期中試験(小テスト)の成績30%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。						
【使用教材・教具】						
・ソラスト 調剤薬局事務テキスト1 医療保険制度 ・その他適宜資料						
【履修にあたっての留意点】						
・携帯電話等の持ち込みを禁止します。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅱ		30時間	15コマ	1単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	有	調剤薬局(調剤事務)		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医薬分業、調剤報酬点数に関して学ぶ。						
【到達目標】						
1. 医薬分業について理解できる。 2. 調剤報酬の請求の流れについて理解できる。 3. 認定試験の合格を目指す。						
【授業の方法】						
・演習						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート30% 筆記試験70%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・調剤薬局事務講座テキスト 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
調剤報酬事務Ⅲ		30時間	15コマ	1単位	2学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	有	調剤薬局(調剤事務)		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
調剤報酬レセプトについて、具体的に演習する。						
【到達目標】						
調剤報酬レセプトの作成ができる。 認定試験の合格を目指す。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート30% 筆記試験70%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・調剤薬局事務講座テキスト 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
接遇マナー		30時間	15コマ	1単位	1学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	西條 ユキコ	有	アナウンサー(接遇訓練士)		30時間
	2					
	3					
【学修内容】						
職場でのマナーについて学ぶとともに、英語での応対接客について学ぶ。						
【到達目標】						
接遇マナーについて理解できる。						
【授業の方法】						
・演習						
【成績評価の方法と基準】						
・小テスト20% 筆記試験80%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・医療従事者必携 接遇とマナー 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅠ		60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	無			60時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。						
【到達目標】						
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート課題100%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・医療事務講座テキスト 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅡ		60時間	30コマ	2単位	2学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	無			60時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。						
【到達目標】						
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート課題100%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・医療事務講座テキスト 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、居眠り、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
メディカルクラークⅢ		60 時間	30 コマ	2 単位	2 学年 (後期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	菊池 朋恵	無			60 時間
	2					
	3					
【学修内容】						
医療保険制度や患者接遇マナー、診療報酬点数算定、診療明細書についての学習。						
【到達目標】						
1. 医療事務技能審査試験合格をめざす。 2. 医療事務の基本的知識、技術を習得する。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・レポート50% 実技試験50%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。						
【使用教材・教具】						
・医療事務講座テキスト レセプト点検攻略ドリル 適宜資料配布						
【履修にあたっての留意点】						
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
実習指導		30 時間	15 コマ	1 単位	1 学年 (前期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	高村 幸生	有	小売店（登録販売者）		30 時間
	2					
	3					
【学修内容】						
現場実習（実務経験）に向けた知識を深め、円滑な実習を行えるように社会人としての基本的なマナーを身に付ける。						
【到達目標】						
社会人としての基本的なマナーを身に付け、現場実習（実務経験）への知識を深める。						
【授業の方法】						
・演習 ・グループワーク						
【成績評価の方法と基準】						
・期末試験の成績70% 期中試験（小テスト）の成績30%						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・様々な店舗（ドラッグストア・総合スーパー等）へ行き、登録販売者の接客を観察してみましょう。						
【使用教材・教具】						
・薬業科 実務経験の手引き ・薬業科 現場実習（実務経験）要綱 ・その他適宜資料						
【履修にあたっての留意点】						
・携帯電話等の持ち込みは禁止します。						

--

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
現場実習		720時間	—	16単位	1学年 (通年)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	店舗責任者	有	ドラッグストア等（登録販売者）		720時間
	2	高村 幸生	有	小売店（登録販売者）		巡回指導
	3	菊池 朋恵	有	調剤薬局（登録販売者、調剤事務）		巡回指導
【学修内容】						
主に一般用医薬品の販売等の直接の業務。						
【到達目標】						
1. 店舗及び業務の理解、基本的マナーの実践、基本コミュニケーションの実践が行える。						
2. 最小限の指示の下で業務、報告・連絡・相談の確立、レジ・品出し業務の基本的理解が行える。						
3. 発注業務・広告作成、販促への積極的協力、プレゼンテーション能力の獲得が行える。						
【授業の方法】						
・実習						
【成績評価の方法と基準】						
・施設評価及び教員評価をもとに評価する。						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・教員の巡回を利用し、実習でのつまづきを解消して行きましょう。						
【使用教材・教具】						
・接遇とマナー 登録販売者試験受験対策共通テキスト 本校現場実習要綱						
【履修にあたっての留意点】						
・提出物は遅れのないように提出すること。						

科目名		授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
現場実習		240時間	—	5単位	2学年 (1学期)	必修
担当 教員	番号	氏名	実務経験有無	主な実務経験内容		授業時間数
	1	店舗責任者	有	ドラッグストア等（登録販売者）		240時間
	2	高村 幸生	有	小売店（登録販売者）		巡回指導
	3	菊池 朋恵	有	調剤薬局（登録販売者、調剤事務）		巡回指導
【学修内容】						
主に一般用医薬品の販売等の直接の業務。						
【到達目標】						
1. 担当売り場の管理、売上向上のための連携、引継ぎ準備、スーパーバイズ能力の獲得が行える。						
2. 能動的な接客、商品説明、業務引継ぎスーパーバイザー的役割が行える。						
3. 指導力・管理力・リスクマネジメント力の獲得、登録販売者試験に向けての応用知識獲得を目指す。						
【授業の方法】						
・実習						
【成績評価の方法と基準】						
・施設評価及び教員評価をもとに評価する。						
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】						
・教員の巡回を利用し、実習でのつまづきを解消して行きましょう。						
【使用教材・教具】						
・接遇とマナー 登録販売者試験受験対策共通テキスト 本校現場実習要綱						
【履修にあたっての留意点】						
・提出物は遅れのないように提出すること。						